

かかみがはら航空宇宙科学博物館

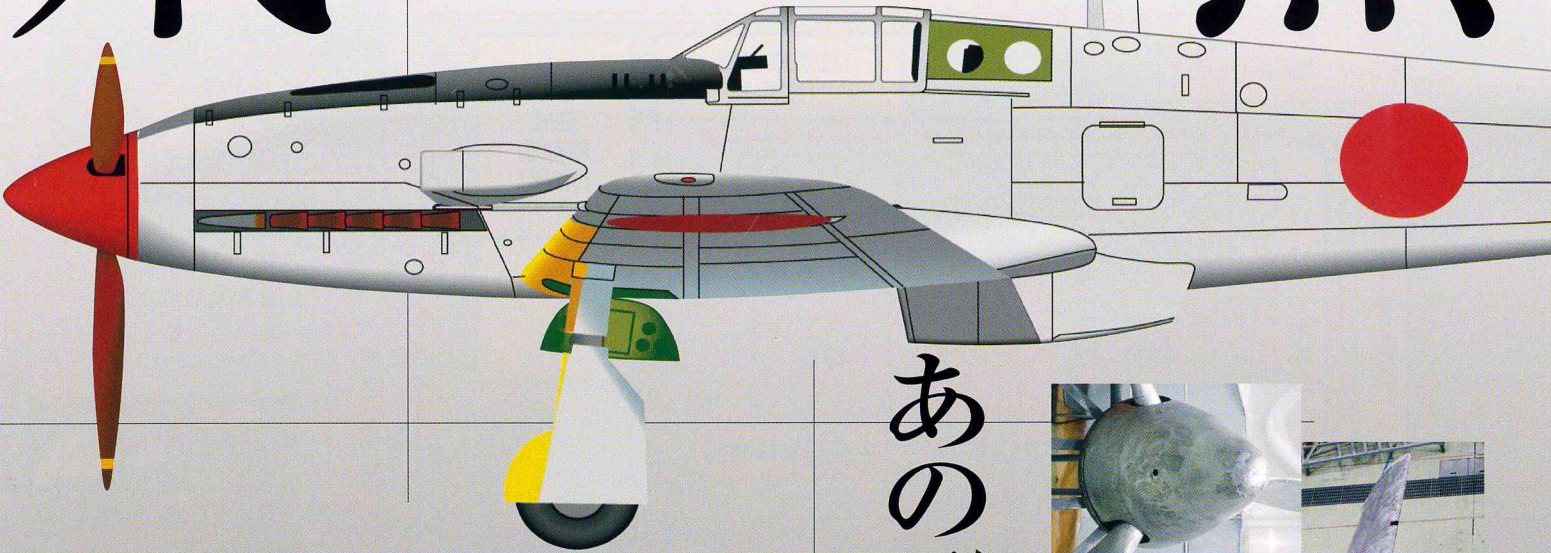
収蔵庫

平成29年
秋頃まで
公開

オープン
燕

飛

充実のミニ博物館を
期間限定で公開!

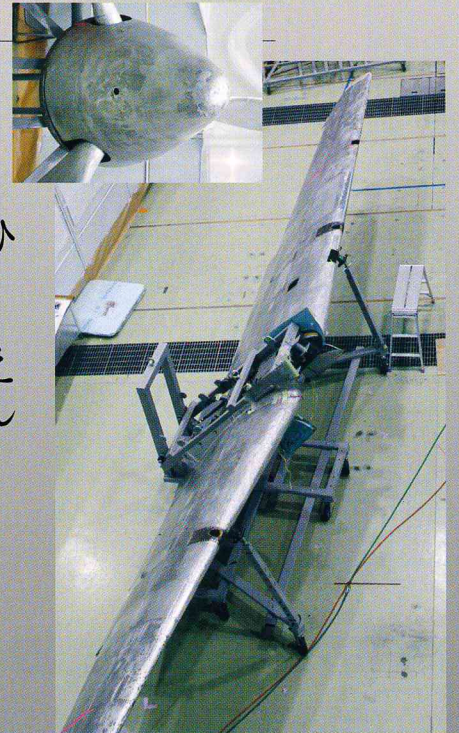


「飛燕」は、日本の航空機産業を世界水準に押し上げた土井武夫(どい たけお)氏が設計し、昭和16年に各務原飛行場で初飛行しました。「飛ぶ姿が燕のようだ」ということからこの名が付けられたとされています。

第二次世界大戦期に、岐阜県各務原市で3,000機以上が生産されました。今では世界に一機しか残っていない量産型液冷エンジンの三式戦闘機「飛燕」を収蔵庫で公開! (平成20年度近代化産業遺産登録)



あの飛燕ひえんが帰ってきた!



平成27年9月から約1年をかけて、川崎重工業岐阜工場ではレストア(修復)が行なわれました。その修復作業の姿のまま、胴体、主翼、エンジンに分解した状態で展示します。博物館全館オープン後は組み立てられた姿で公開しますので、この姿が見られるのは今だけ!

ただ今、博物館本館は工事中です

平成30年3月全館オープン予定!